



Amazon S3 への Cloud Volumes ONTAP データのバックアップ Cloud Manager

Tom Onacki, Ben Cammett
July 06, 2021

目次

Amazon S3 への Cloud Volumes ONTAP データのバックアップ	1
クイックスタート	1
要件	2
新しいシステムでの Cloud Backup の有効化	5
既存のシステムでの Cloud Backup の有効化	6

Amazon S3 への Cloud Volumes ONTAP データのバックアップ

Cloud Volumes ONTAP から Amazon S3 へのデータのバックアップを開始するには、いくつかの手順を実行します。

クイックスタート

これらの手順を実行してすぐに作業を開始するか、残りのセクションまでスクロールして詳細を確認してください。

構成がサポートされていることを確認します

- Cloud Volumes ONTAP 9.6 以降を AWS で実行している。
- バックアップを格納するストレージスペースに対する有効なクラウドプロバイダのサブスクリプションが必要です。
- に登録しておきます ["Cloud Manager Marketplace のバックアップソリューション"](#)またはを購入したことが必要です ["アクティブ化されます"](#) NetApp の Cloud Backup BYOL ライセンス。
- Cloud Manager に権限を提供する IAM ロールにはが含まれています 最新のものから S3 権限 ["Cloud Manager ポリシー"](#)。

新規または既存のシステムで **Cloud Backup** を有効にします

- 新しいシステム： Cloud Backup は、作業環境ウィザードではデフォルトで有効になっています。このオプションは必ず有効にしておいてください。
- 既存のシステム：作業環境を選択し、右パネルのバックアップと復元サービスの横にある * 有効化 * をクリックして、セットアップウィザードに従います。



プロバイダの詳細を入力します

バックアップを作成する AWS アカウントとリージョンを選択します。

Provider Settings

AWS Account

AWS_Account_1

Region

us-east-2

バックアップポリシーを定義

デフォルトポリシーでは、毎日ボリュームがバックアップされ、各ボリュームの最新の 30 個のバックアップコピーが保持されます。日単位、週単位、または月単位のバックアップに変更するか、システム定義のポリシーの中からオプションを追加するものを 1 つ選択します。保持するバックアップコピーの数を変更することもできます。

Define Policy

Policy - Retention & Schedule

☒ Create a New Policy

☐ Select an Existing Policy

☒ Daily

Number of backups to retain

30

☐ Weekly

Number of backups to retain

52

☐ Monthly

Number of backups to retain

12

DP Volumes

Data protection volume backups use the same retention period as defined in the source SnapMirror relationship by default. Use the API if you want to change this value

S3 Bucket

Cloud Manager will create the S3 bucket after you complete the wizard

バックアップするボリュームを選択します

Select Volumes（ボリュームの選択）ページで、バックアップするボリュームを特定します。

必要に応じて、データをリストアします

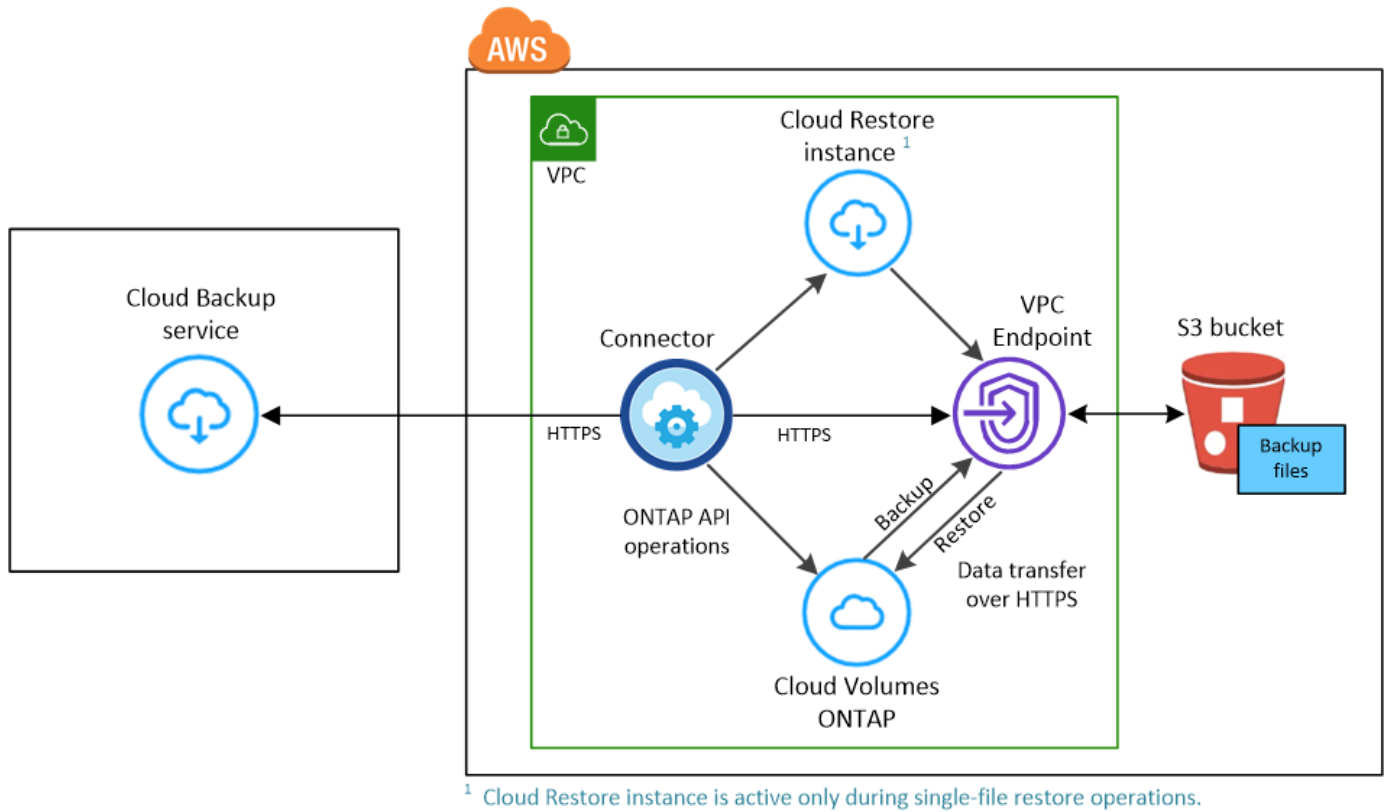
バックアップ全体を新しいボリュームにリストアするか、またはバックアップから既存のボリュームに個々のファイルをリストアするかを選択します。データは、AWS 内の Cloud Volumes ONTAP システムやオンプレミスの ONTAP システムにリストアできます。

を参照してください ["バックアップファイルからのボリュームデータのリストア"](#) を参照してください。

要件

S3 へのボリュームのバックアップを開始する前に、次の要件を読み、サポートされている構成になっていることを確認してください。

次の図は、各コンポーネントとその間の準備に必要な接続を示しています。



クラウドに導入されたクラウドリストアインスタンスは、コネクタと同じサブネットに配置されます。

サポートされている **ONTAP** のバージョン

Cloud Volumes ONTAP 9.6 以降

ライセンス要件

Cloud Volumes ONTAP データとオンプレミスの ONTAP データの両方をバックアップできる年間契約の場合は、から登録する必要があります ["AWS Marketplace のページ"](#) 次に ["サブスクリプションを AWS クレデンシャルに関連付けます"](#)。

年間契約を使用して Cloud Volumes ONTAP と Cloud Backup Service をバンドルできるようにするには、Cloud Volumes ONTAP 作業環境の作成時に年間契約を設定する必要があります。このオプションでは、オンプレミスのデータをバックアップすることはできません。

Cloud Backup BYOL ライセンスには、AWS Cloud Backup サブスクリプションは必要ありません。シリアル番号はネットアップから提供される必要があります。この番号を使用すると、ライセンスの期間と容量にサービスを使用できます。を参照してください ["バックアップ BYOL ライセンスの管理"](#)。

また、バックアップを格納するストレージスペース用の AWS アカウントが必要です。

サポートされている **AWS** リージョン

Cloud Backup はすべての AWS リージョンでサポートされます ["Cloud Volumes ONTAP がサポートされている場合"](#)。

別の **AWS** アカウントでバックアップを作成する場合の必須のセットアップです

デフォルトでは、Cloud Volumes ONTAP システムに使用されるアカウントと同じアカウントを使用してバックアップが作成されます。バックアップに別の AWS アカウントを使用する場合は、が必要です ["AWS ポータルにログインして、2 つのアカウントをリンクできます"](#)。

AWS Backup 権限が必要です

ポリシーの具体的な権限を次に示します。

```
{
    "Sid": "backupPolicy",
    "Effect": "Allow",
    "Action": [
        "s3:DeleteBucket",
        "s3:GetLifecycleConfiguration",
        "s3:PutLifecycleConfiguration",
        "s3:PutBucketTagging",
        "s3:ListBucketVersions",
        "s3:GetObject",
        "s3:DeleteObject",
        "s3:ListBucket",
        "s3:ListAllMyBuckets",
        "s3:GetBucketTagging",
        "s3:GetBucketLocation",
        "s3:GetBucketPolicyStatus",
        "s3:GetBucketPublicAccessBlock",
        "s3:GetBucketAcl",
        "s3:GetBucketPolicy",
        "s3:PutBucketPublicAccessBlock"
    ],
    "Resource": [
        "arn:aws:s3:::netapp-backup-*"
    ]
},
```

AWS Restore 権限が必要です

```
    "Action": [
        "ec2:DescribeInstanceTypeOfferings",
        "ec2:StartInstances",
        "ec2:StopInstances",
        "ec2:TerminateInstances"
    ],
```

AWS 環境にはアウトバウンドのインターネットアクセスが必要です

エンドポイント	目的
\ http://amazonlinux.us-east-1.amazonaws.com/2/extras/docker/stable/x86_64/4bf88ee77c395ffe1e0c3ca68530dfb3a683ec65a4a1ce9c0ff394be50e922b2/	クラウドリストアインスタンス AMI 用の CentOS パッケージ。
¥ http://cloudmanagerinfraprod.azurecr.io ¥ https://cloudmanagerinfraprod.azurecr.io	Cloud Restore Instance のイメージリポジトリ。


新しいシステムでの Cloud Backup の有効化

Cloud Backup は、作業環境ウィザードではデフォルトで有効になっています。このオプションは必ず有効にしておいてください。

を参照してください "[AWS での Cloud Volumes ONTAP の起動](#)" を Cloud Volumes ONTAP 参照してください。

手順

1. [Cloud Volumes ONTAP の作成 *] をクリックします。
2. クラウドプロバイダとして Amazon Web Services を選択し、シングルノードまたは HA システムを選択します。
3. [詳細と資格情報] ページに入力します。
4. [サービス] ページで、サービスを有効のままにして、[* 続行] をクリックします。

 Backup to Cloud

Integrated backup for Cloud Volumes ONTAP based on SnapMirror and Snapshot technologies. Backup copies are maintained in S3 buckets. Backups stored in S3 are charged separately from Cloud Volumes ONTAP.

ADVANTAGES

- ✓ Automatically back up all volumes.
- ✓ Creates new backup copy every day.
- ✓ Retains backups for 30 days.

CLARIFICATIONS

- > Backup settings are editable after working environment creation.

5. ウィザードの各ページを設定し、システムを導入します。

Cloud Backup はシステムで有効になり、ボリュームを毎日バックアップして、最新の 30 個のバックアップコピーを保持します。

可能です "[ボリュームのバックアップを開始および停止したり、バックアップを変更したりできます スケジュール](#)" また、次のことも可能です "[ボリューム全体または個々のファイルをバックアップファイルからリストアする](#)".

既存のシステムでの **Cloud Backup** の有効化

作業環境から Cloud Backup をいつでも直接有効にできます。

手順

1. 作業環境を選択し、右パネルの [バックアップと復元] サービスの横にある [*Enable] をクリックします。



2. バックアップを作成する AWS アカウントとリージョンを選択し、* Next * をクリックします。

これは、Cloud Volumes ONTAP システムが配置されている AWS のアカウントおよびリージョンとは異なる場合があります。バックアップに別の AWS アカウントを使用する場合は、が必要です ["AWS ポータルにログインして、2つのアカウントをリンクできます"](#)。

3. バックアップのスケジュールと保持の値を定義し、* Next * をクリックします。

を参照してください ["既存のポリシーのリスト"](#)。

4. バックアップするボリュームを選択し、* バックアップのアクティブ化 * をクリックします。

Select Volumes						
57 Volumes Q						
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume Name	Volume Type	SVM Name	Used Capacity	Allocated Capacity	Backup Status
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_1	RW	SVM_Name_1	0.25 TB	10 TB	⊖ Not Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_2	RW	SVM_Name_2	0.25 TB	10 TB	⊖ Not Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_3	RW	SVM_Name_3	0.25 TB	10 TB	⊖ Not Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_4	DP	SVM_Name_4	0.25 TB	10 TB	⊖ Not Active
<input checked="" type="checkbox"/>	Volume_Name_5	RW	SVM_Name_5	0.25 TB	10 TB	⊖ Not Active

- すべてのボリュームをバックアップするには、タイトル行 (☒ Volume Name)。
- 個々のボリュームをバックアップするには、各ボリュームのボックス (☒ Volume_1)。

Cloud Backup が起動し、選択した各ボリュームの初期バックアップの作成が開始されます。 Backup Dashboard が表示され、バックアップの状態を監視できます。

可能です "ボリュームのバックアップを開始および停止したり、バックアップを変更したりできます スケジュール" また、次のことも可能です "ボリューム全体または個々のファイルをバックアップファイルからリストアする"。

Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.